

# 流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局  
石林 7154-7511 三原 7152-6559  
山田 7144-3993



2015.2.1 NO.107

「九条の会・流山」HP：<http://www.nagareyama9.org/>メール：[info@nagareyama9.org](mailto:info@nagareyama9.org)

## 流山憲法集会

5月17日(日) 午後

流山市生涯学習センター

講演 小森陽一氏

〈九条の会(全国)事務局長〉

いよいよ安倍内閣が集団的自衛権行使に本格的に踏み込もうとしています。あらためて情勢をしっかりとつかみ、活動に確信を持って進みたいと思います。

## 安倍総理 村山談話見直しへ

8月15日の終戦記念日に安倍総理は戦後70年の談話を出す予定です。ところが彼は「全体として村山談話を引き継ぐ」としながら「今までのキーワードを使うのか」との問いには否定しており、談話の変更は新たな火種になるとの懸念が広がっています。

村山談話は1995年に当時の村山富市総理が出し、「日本の植民地支配と侵略」を認めて謝罪をしたもので、その後のアジア諸国や世界との友好のために大きな役割を果たしてきました。それを否定すれば世界に向かって新たな挑戦を意味しかねず、与党の公明党にも懸念が広がっていると伝えられています。

### 村山談話

わが国は国策を誤り、植民地支配と侵略によって、とりわけアジア諸国の人々に多大の損害と苦痛を与えました。疑うべくもないこの歴史の事実を謙虚に受け止め、改めて痛切な反省の意を表し、心からのお詫びの気持ちを表明いたします。

## 「集団的自衛権」実働化

安倍総理は昨年閣議決定した集団的自衛権の行使を可能にするため、関連した安保法制の整備を急いでおり、連休明けには国会にだす予定とされています。まだ全体は明らかにされていませんが報道されている一部を見てもことは重大です。

◆検討中の日米防衛協力ガイドラインの改定では、従来の「周辺事態」をなくそうとしています。

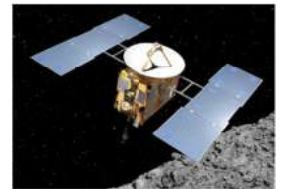
日本政府は従来専守防衛に徹するとして自衛隊の活

動できる範囲を日本の領土、領空、領海としてきましたが、「周辺事態」をもOKとし、さらに安倍内閣は日本に関わりがあれば世界中どこへでも、出動できると拡大し言いはじめているのです。

◆しかも電話一本でも首相の判断で出動命令を出せるようにしようとしています。現在は海外派遣をするためには、そのつど国会で特別措置法を決めなければ許されません。これを省いて政府が自由に海外派兵できる自衛隊の海外派遣恒久法を狙っているのです。

◆武器輸出にも異常な執念を燃やしています。武器輸出を制限する三原則をひっくり返して、輸出促進のための「防衛装備移転三原則」に変えてしまいました。そしてさらに輸出促進のため武器購入国に資金援助までしようとしています。たとえば民間企業が金融機関から資金調達し、途上国に資金を貸して武器を買わせる仕組みや日本の軍事産業が製造した武器を政府自身が購入して無償で他国に提供するなどです。

◆「安全保障分野で宇宙を積極的に活用していくことが必要」とし、宇宙空間への進出を強める中国やミサイル開発を進める北朝鮮への対応を念頭に「日米宇宙協力の新しい時代」などとして偵察衛星である情報収集衛星の強化など宇宙の軍事利用まで踏み込もうとしています。



## 会の活動多様に幅広く

1月17日に「集団的自衛権の行使を認めない」と「女の平和 国会ヒューマンチェーン」が行われ、コート、帽子、マフラーなど赤色を纏った女性が国会を包囲。25日には普天間飛行場の辺野古移設反対の「国会包囲ヒューマンチェーン」が行われ、いずれも約7000人が国会を取り巻きました。それぞれ「九条の会・流山」からも参加しました。(月一回の発行ですのでこのニュースでは呼びかけられないのがもどかしいです。)

また、この間連日のようにリーフの配布が行われていますが「配布だけなら出来ます」「足が悪くて配布は難しいがリーフを折るだけなら」などの協力が広がっています。ある地域では配布の直後に「カンパをしたい」という電話をいただくなど励まされています。世話人を中心に配布を進めていますが、もっともっと広げて文字通り全市民に訴えて行きたいと思います。引き続きご協力をお願いします。連絡待っています。

